

【記載例】赤字の部分が記載例です。届出書には黒字で記載してください。

別記様式第10号の2 (第8条関係)

資料区分	17	受理年月日	5. 令和	年	月	日
受理警察署	( ) 署					

競り売り届出書

古物営業法第10条第3項の規定により競り売りの届出をします。

競り売りをする日の  
3日前までの日付

令和〇〇年〇〇月〇〇日

愛知県 公安委員会 殿

届出者の氏名又は名称及び住所

愛知県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 愛知 太郎

許可証番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
許可年月日	3. 昭 4. 平成 5. 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
氏名 又は名称	(フリガナ) アイチ タロウ (漢字) 愛知 太郎

送信元識別符号													
h	t	t	p	:	/	/	w	w	w	.	k	o	n
o	h	a	I	I	I	.	c	o	m				
			える	いち	あい								
<p>誤読されやすい符号にはふりがなを付ける</p> <p>※ 送信元識別符号欄に「別紙参照」と記載し、文書作成ソフト等 (Word等) によりURLを印字した別紙を添付することも可能</p>													
期間	5. 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 から 5. 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日まで												
	午前 〇〇時 〇〇分 から 午前 〇〇時 〇〇分 まで 午後 〇〇時 〇〇分 から 午後 〇〇時 〇〇分 まで												
通信手段の種類	電子メール	郵便、電話、ファクシミリ等取引の相手方との通信に利用する手段を記載する											

記載要領

- 1 最上段の細枠内には記載しないこと。
- 2 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 3 送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。
- 4 送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。